

◎景気ウォッチャー調査[2023年3月]

2023年3月の中国地域調査結果の概況

■景気の現状に対する評価

現在の景気を3か月前と比較するとその評価は次のとおりであった。

景気の現状判断D I (合計)は、前月を6.8ポイント上回る56.2となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答の割合が減少し、「インバウンド需要も回復し、来客数が増加している。」(高級レストラン)、「マスクの着用が個人の判断に委ねられることになり、週末に商店街を訪れる家族客も増加している。」(商店街)等の理由から、「良くなっている」、「やや良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を6.5ポイント上回る55.4となった。

企業動向関連は、「やや悪くなっている」の回答の割合が減少し、「仕入れや販売での価格転嫁に一定の落ち着きがみられ、周囲の取引先も安定した利益計上を行っている。」(化学工業)等の理由から、「良くなっている」、「やや良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を5.9ポイント上回る55.1となった。

雇用関連は、「やや悪くなっている」の回答の割合が減少し、「前月比150%超の求人登録があり、今後も更に増加していくことが予測される。」(民間職業紹介機関)、「製造業関係の求人数が前年同期よりも増加している。」

(学校)等の理由から、「やや良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を11.9ポイント上回る65.0となった。

	3月	2月	前月差
合計	56.2	49.4	6.8
家計動向関連	55.4	48.9	6.5
企業動向関連	55.1	49.2	5.9
雇用関連(参考値)	65.0	53.1	11.9

■景気の先行きに対する評価

現在より3か月先の景気の先行きに対する評価は次のとおりであった。

景気の先行き判断D I (合計)は、前月を2.7ポイント上回る56.5となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答の割合が減少し、「経済活動の拡大によって、団体客や外国人客が増加するため、景気は良くなる。」(テーマパーク)、「新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行することにより、人の動きが活発になり、景気は良くなる。」(観光名所)等の理由から、「良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を1.4ポイント上回る56.0となった。

企業動向関連は、「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答の割合が減少し、「データセンター見学や引き合い、提案、見積依頼件数が増加してきている。オンプレミスからデータセンターやクラウド利用のニーズが明らかに増加しているため、今後、景気は良くなる。」(通信業)等の理由から、「良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を5.2ポイント上回る53.7となった。

雇用関連は、「やや悪くなる」の回答の割合が減少し、「ウィズコロナの状況は続いているが、今月は求人数が右肩上がりとなっており、今後もこの状況が続く。」(人材派遣会社)、「全国旅行支援が6月末までに延長され、5月には新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行するため、今後、人の往来がより活発になる。」

(職業安定所)等の理由から、「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を7.3ポイント上回る66.7となった。

	3月	2月	前月差
合計	56.5	53.8	2.7
家計動向関連	56.0	54.6	1.4
企業動向関連	53.7	48.5	5.2
雇用関連(参考値)	66.7	59.4	7.3